

| | |
|-------------------------------------|--|
| 科目名 | 看護教育学 Basic Nursing Education |
| 授業形態 | 講義・演習 |
| 標準履修年次 | 1年次 |
| 実施学期・曜時限等 | 春学期 BC 火曜日 1・2限 |
| 単位数 | 2単位 |
| 担当教員名 | 森 千鶴 Mori Chizuru 岡山久代 Okayama Hisayo 川野亜津子 Kawano Atsuko |
| ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA) | なし |
| オフィスアワー等 | 4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp |
| 授業の到達目標 (学習成果) | (1) 看護教育制度の基盤となる知識を修得する (2) 看護の質を高める看護教育制度の改革、構築について考察できる (3) 高等教育機関の質の保証について理解し、説明できる (4) 看護学教育におけるカリキュラム構築について理解し、説明できる |
| 他の授業科目との関連 | 助産師教育課程履修者は必修 |
| 履修条件 | 助産師教育課程履修者 |
| 授業概要 | 看護専門職者として看護基礎教育に関わる基盤となる知識を修得する。看護基礎教育に必要な学習理論、教授方法、教育評価に関する知識 |
| キーワード | 教育課程、教育制度、カリキュラムの構築 |
| 授業計画 | プリントを配布し、それに沿って進める。なお、演習の時間を設ける。 1 (5/21) (看護師教育課程における今日的課題) (森 千鶴) 2 (5/28) (看護教育と学習理論) (森 千鶴) 3 (6/4) (看護学教育におけるカリキュラム構築) (森 千鶴) 4 (6/11 3, 4限) (看護学教育の関連文献の検討) (川野亜津子) 5 (6/18) (看護教育における実習指導と評価) (岡山久代) 6 (6/25) (母性看護学演習の実際Ⅰ) (岡山久代) 7 (7/2) (母性看護学基礎教育における教授案の作成) (岡山久代) 8 (7/9) (母性看護学演習における教授案の作成) (岡山久代) 9 (7/23) (助産師基礎教育における教授活動の実際) (川野亜津子) 10 (7/30) (母性看護学演習の実際Ⅱ) (岡山久代) |
| 学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法 | 講義(50%)と演習(50%)を併用する 課題は各教員が次の授業の課題を出す 5/28 学習理論について、各自まとめて発表、討議を行う |
| 成績評価方法 | 2/3以上の出席を以て評価を受けることができる 1回10点満点で各教員がプレゼンテーションと討議を評価し、合算で評定をつける |
| 教材・参考文献・配布資料等 | 毎回プリントを配布し、それに沿って進める。従って指定する教科書はない。 |
| その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等) | 積極的に討議に参加する |